

# 夫婦12組を含む50人が参加

## 大学16回生



青島にある一流ホテルに感激

集して開催した。

従来は5年間隔で開かれていたと記憶しているが、3年前の別府の会で5年は長すぎるということで今回の宮崎開催となつた次第である。

宮崎開催が決まつて一番心配したのは、遠方から宮崎まで何名の参加者があるか、また、参加者をどのように歓待すれば満足して帰つてもらえるかという2点であつた。

宿泊ホテルについては街中のビジネスホテルの話も出たが、青島・太平洋に面したANA本リデイ・イン・リゾート宮崎に決め、全室ツインルームを確保した。正月、同期会開催の案内を兼ねて全員に年賀状を出し出来るだけ予定に入れてもうよう依頼。その後、世話人一同で会合を重ね行事等を練り上げていった。

4月に入り熊本・大分に跨る大地震が発生した影響で参加者が減るのではないかと危惧したが幸い参加者も多く安堵した。

会の初日、三々五々各地から参加者がホテルに到着、チケットを購入してもらう。受付終了後、淨念寺片寄住職による講話「古希を過ぎてからの楽しい生き方」を聴講、ギター演奏、歌を交えての話に引き込まれ清々しい気分に浸れたのではないかと思つている。

記念撮影を終えパーティー会場へ移動。会の進行は石井伸雄君が担当し、先ず全員で物故者に黙祷を捧げ、青木茂君の開会宣言、宮本泰雄君の乾杯の音頭により懇親会が始まつた。

長年、山の環境保全に尽力し秋に「藍綬褒章」を受賞した五十嵐賢君や今春福岡大学学長を退官した衛藤卓也君に話をしてもらうなどの趣向を交えながら宴が進行する中、突如お面を冠り赤い法被姿の一団が登場し踊り始める。軽妙な拍子に合わせて手や腰を動かす日向名物「ひよっこ踊り」の実演である。会場は思いもよらない余興に騒然とし大爆笑に包まれた。踊りの後、踊り手全員に舞台に上がつ

てもらい仮面を脱いでもらつたが、踊り手の半数以上が女性であり、小さい子供も混じつていてこれまたびっくり、拍手喝采を浴びていた。懇親会も盛り上がりたところで校歌・寮歌・逍遙歌を合唱し武田良哲君の音頭で万歳三唱、岩切宏海君の閉会歌を交えての話に引き込まれてこれまでの時間に青島散策で時間を過ごしてもらう。

受付終了後、淨念寺片寄住職による講

話「古希を過ぎてからの楽しい生き方」を聴講、ギター演奏、歌を交えての話に引き込まれてこれまでの時間に青島散策で時間を過ごしてもらう。

受付終了後、淨念寺片寄住職による講

話を終え、「九州復興割」を利用して南海岸へ出発した。観光の案内はリコーカップの開催場所でもある宮崎カントリー倶楽部へ、観光組は貸切バスで宮崎神宮へ日

の辞で散会した。

翌日、ゴルフ組は女子ゴルフのリコーカップの開催場所でもある宮崎カントリー倶楽部へ、観

光組は貸切バスで宮崎神宮へ日

の辞で散会した。

翌日、ゴルフ組は女子ゴルフ

のリコーカップの開催場所でもある宮崎カントリー倶楽部へ、観

光組は貸切バスで宮崎神宮へ日

の辞で散会した。

翌日、ゴルフ組は女子ゴルフ